

# 名工大セラミックス基盤工学研究センター研究成果報告会

## — 東濃イノベーションへ向けて —

主催：名古屋工業大学セラミックス基盤工学研究センター

共催：名古屋工業大学共同研究センター

後援：多治見市，瑞浪市，土岐市，笠原町

セラミックス基盤工学センターは1973年に窯業技術研究施設として名古屋市昭和区の名古屋工業大学に創設され、1987年には現在の岐阜県多治見市旭ヶ丘地区に移転して、本年で30年を迎えました。この間、1991年にはセラミックス研究施設へ、2001年にはセラミックス基盤工学研究センターへと改組をおこなうとともに、岐阜県東濃地区（多治見市，土岐市，瑞浪市，笠原町）を中心とした多くの企業との共同研究，技術指導あるいは公開講座を通して地域社会への貢献に努力を重ねてまいりました。

現センターの設置目的は「21世紀における循環型社会の構築とそれに伴う環境・エネルギー問題の解決に貢献しうるインテリジェントセラミックス開発に必要な要素技術の研究開発」であり，機能創製研究部門および解析設計研究の2部門を擁し，教授，助教授計7名，客員教授1名，技官2名，博士研究員数名のスタッフがこの目的達成に向けて，それぞれの専門を生かした積極的な研究展開を行っています。しかし，大学だけの狭い範囲での努力では本目的の達成は困難であり，幅広い産官学の連携が不可欠です。さらに，国立大学も平成16年度より独立法人化され，より一層の地域社会に対する貢献が要請されています。その一方で，東濃地域の地場産業である陶磁器産業は空洞化を懸念されています。この状況を打破するために，当該センターの革新的研究成果が普く活用されることは望むことであります。

本センターの創立30周年を契機に，日頃の研究成果を公開し，東濃産官学連携（東濃イノベーション）へ向けて皆様の貴重なご意見をお伺いしたく，首題の成果報告会を企画いたしました。

場所：多治見市文化会館

日時：平成16年3月4日（木）

### プログラム

#### 1. 挨拶（13:30-14:00）

セラミックス基盤工学研究センター長 高橋 実  
名古屋工業大学長 松井 信行  
名古屋工業大学副学長 長野 靖尚  
多治見市長 西寺 雅也

#### 2. 成果報告（14:00-16:00）

- 「機能性セラミックス複合材料の設計とその作製」  
機能創製研究部門複合機能研究グループ  
教授 太田敏孝
- 「環境調和セラミック素材 — 環境浄化のための化学的機能の研究例 —」  
機能創製研究部門環境素材研究グループ  
助教授 小澤正邦
- 「セラミックス製品のLCA解析評価と低環境負荷プロセスの開発」  
機能創製研究部門  
客員教授 蔵島吉彦
- 「物質解析 — 我々にできること —」  
解析設計研究部門解析システム研究グループ  
教授 石澤伸夫
- 「環境調和セラミックプロセスの開発 — 超軽量多孔質セラミックス建材を例として —」  
解析設計研究部門インテリジェントプロセス設計グループ  
助教授 藤 正督

#### 3. ポスターセッション（16:00-17:00）

#### 4. 懇談会（17:00-19:00）

